



さ さ づ か

令和2年7月1日発行

〈教育目標〉

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

Tel 3377-2345 Fax 3377-2466 HP <https://www.fureai-cloud.jp/sasasho/> 校長 荒木 憲秀

大事な大事な、小さな命のおはなし

校長 荒木 憲秀

日に日に暑さが厳しくなり、夏本番を迎えました。7月より、やっと全校児童がそろっての登校が始まります。引き続き3つの密を避け、感染予防策を講じながらの学校生活にはなりますが、少しずつ日常生活が元に戻りつつあることに、心からほっとしています。今年度は、7月末までを授業日とし、夏休みは8月1日～30日の約1か月間に短縮することになりました。また、子供たちが楽しみにしているプールでの水遊びや水泳の学習も、実施できなくなってしまいました。遠足や宿泊行事、運動会等、様々な行事や活動が中止となってしまったことは、たいへん残念なことではありますが、これまでそういった取組を通じて育んできた子供たちの学びや成長を、何らかの形で代替できるよう、全教職員で知恵を絞っているところです。

話は変わりますが、先月の分散登校中、登校してくる子供たちを校門で迎えていると、小さなカップや飼育ケース、牛乳パックを大事そうに抱えて登校してくる子供たちをたくさん見かけました。「それ、なあに？」と尋ねると、嬉しそうに教えてくれました。3年生の子が抱えているプラカップにはモンシロチョウの幼虫が、牛乳パックからはヒマワリやオクラの芽が、5年生が両手で包み込むように持っているチャック付きポリ袋の中には、なんとメダカの卵が！家で孵化したのだというメダカの稚魚を飼育ケースに入れて持ってきた子もいました。

学校では、1～2年生の生活科や3～6年生の理科の学習で、様々な動植物を飼育・栽培します。もちろんその目的は、生物の発生や成長という自然科学の基礎知識を習得することにあります。しかし、知識を得るだけであれば、今やネットで検索すれば、あふれるほどの情報をいともたやすく手に入れることができます。それでもあえて、一人一人に実際に飼育・栽培させることには、何の意味があるのでしょうか。

その答えは、子供たちの表情が物語ってくれます。アサガオも、ミニトマトも、チョウも、メダカも、ツルレイシも、小さな種や卵から、驚くほどの変化、成長を見せます。そこに神秘的な生命の営みがあることを、子供たちは実感を伴って理解します。そして日々刻々と変化していく成長の様子不思議さから、湧き上がるように「問い」が生まれてきます。小さな命をじっと見つめる子供たちの眼差しの、なんと優しく、そして賢そうなことか……。頭も心も、しっかり育っていることが分かります。笹塚小の教室では、そんなきらきらとした瞳に、たくさん出会えるのです。

今回ご紹介したような内容を、学校ホームページ内「校長室より」にてときどきつづやくことにしました。お時間のあるときにご覧いただけましたら幸いです。



《 7月の生活目標 》 身の回りの整理整とんをしよう

- 後片付けをきちんとしよう。
- 計画的に学習用具を持ち帰ろう。
- 学級や学校のをものを片付けよう。



～1年生のようす～

ようやく、初めての学校生活がスタートした1年生。週に3回の分散登校はペースをつかみづらいようですが、少しずつ学校生活に慣れてきている様子が見られ、嬉しいです。

6月の第1週は、朝顔の種を観察して自分の植木鉢に植えました。強い日差しの中、元気に育ち、芽が出てきている鉢もあります。子供たちは、登校日ごとに成長する朝顔の様子を観察したり、お世話したりすることを楽しんでいます。学校給食も始まりました。通常時とは違い、大人が配膳しました。友達との距離は保ったまま、静かに食べるもぐもぐ給食です。早くコロナ禍が収まって、友達とおしゃべりしながら会食できる日が楽しみです。



～2年生のようす～

6月から分散登校が始まり、子供たちは元気よくすごしています。

先日、生活科の学習で、ミニトマトの苗の植え替えをしました。

植え方を確認したり、友達と教え合ったりしながら、一生懸命取り組みました。苗を丁寧に扱う様子から、これから大切に育てていこうとする思いが感じられました。



その後も下校時には、自分のものだけではなく、登校していない友達の分も水やりを行う姿が見られます。

これからも、生き物を大切に育てる心や、友達のことを思いやる気持ちを育てていきたいと思います。

～3年生のようす～

分散登校でありながらも、子供たちは高い集中力で、学習に臨みました。休校中に頑張ったタブレットの学習を学校の学習にも生かしています。また、2年生までに積み重ねた自分で考える力、友達の考えを聞いて考えを広げる力を存分に発揮して、少ない登校日にもかかわらず、大きく力を伸ばしました。今月から分散登校が終わり、ようやく全員でのスタートになります。学級、学年のつながりをより強くして、これからのさらなる成長につなげます。



～4年生のようす～

4年生の分散登校は、我慢の期間ではなく、しっかりと成長につなげるために教育活動を行ってきました。子供たちは意図的・計画的に教育活動を行っていく中で成長していきます。分散登校中の1か月間、4年生は劇的に変化し、成長しています。他学年の先生方、専科の先生方、図書先生などからも登校日を重ねていく中の4年生の変化が伝わり、驚きと称賛の声をいただいています。1年後、どんな姿に成長しているか楽しみです。体育では、元気いっぱいに『ダンテニ』に取り組む様子が見られます。



～5年生のようす～

元気な子供たちの声が帰ってきました。1クラス40人、分散登校では1クラス20人と、全校の中でも1番多い5年生です。6月は、まだ緊張しているのか、授業中も5分休みもとても静かに落ち着いて過ごしていました。暑い日々が続いていますが、新しい友達をたくさん作って、元気に学習に臨んでほしいと思います。

6月中旬に、総合の水田学習の一環で、田植えを行いました。素足にひんやりと伝わる土の感触を楽しみながら行いました。秋の収穫に向けてタブレットを活用しながら学習を進めていきます。



～6年生のようす～

6年生は、6月1日から週3回の登校日があります。教室は違うけれど、水曜日は全員が揃います。もっと友達としゃべりたいけど、今はもう少し我慢…。また、教科によって教える先生が違う、教科担任制の授業にもだいぶ慣れてきました。これまで委員会やクラブ等で会ったことはあるけど、実際に勉強を教えてもらうのは初めての経験でした。

理科は今年度から着任した坂井先生が担当しています。毎回、いろいろな実験があって、子供たちもとても興味をもって授業を受けています。「石灰水に二酸化炭素を吹き込むと白く濁る」という実験をしました。久しぶりの実験を楽しむ姿が見られました。



7月の予定



		行事予定	SC
1日	水		
2日	木		
3日	金		
4日	土	土曜授業日 学校運営協議会(10:00~)	
5日	日		
6日	月	全校朝会	
7日	火	避難訓練 4時間授業	○
8日	水		
9日	木	安全指導日	
10日	金		◎
11日	土		
12日	日		
13日	月	全校朝会	
14日	火		○
15日	水		
16日	木		
17日	金		◎
18日	土	土曜授業日	
19日	日		
20日	月	登校日 個人面談	
21日	火	登校日 個人面談	○
22日	水	登校日 薬物乱用防止教室(5年) 個人面談	
23日	木	海の日	
24日	金	スポーツの日	
25日	土		
26日	日		
27日	月	登校日 個人面談	
28日	火	登校日 個人面談	○
29日	水	登校日 個人面談	◎
30日	木	登校日 個人面談	
31日	金	登校日 全校朝会	◎
8月		夏季休業日 8月1日~30日 夏季補習日 8月24日~27日 学校保健委員会 8月28日	
31日	月	全校朝会 給食始 引き取り訓練	
9月1日	火	生活RC始 発育測定(56年) 水道キャラバン(4年)	
2日	水	発育測定(24年)	

生活指導部より

生活指導担当

7月から、全員登校になりました。感染予防の措置をしながらの集団生活となります。密を避けながらも熱中症にも配慮して、安全に生活をするよう学校でも指導していきます。

また、6月には「こころのけんこうしらべ」を実施することで、教職員が一丸となって、子供たちの心のケアができるよう、対策をとっています。ご家庭でもお気付きのことがあればどうぞご連絡ください。

また、8月31日は引き取り訓練があります。後日詳細についてお知らせします。

夏季休業中のタブレット活用について ICT担当

夏季休業中は全児童、タブレットを持ち帰ります。また、その際には、「笹塚小学校タブレットルール」を守って使用するようしてください。

7月の授業について

7月は全て**特別時程**になります。詳しい時程については、既に配布された笹塚小学校日課表か笹塚小HPをご確認ください。

土曜授業日について

7月4日、7月18日は土曜授業です。今回は**授業参観日ではありません**ので、ご注意ください。

個人面談について

7月20日~30日まで個人面談です。14時~15時45分の間にお一人おおよそ10分間程度行う予定です。

別紙の案内をご覧いただき、日程調整の程よろしくお願ひします。

夏季水泳指導について

本年度の夏季水泳指導は、全て**中止**となりました。ご了承ください。

SC：スクールカウンセラー勤務日

◎小田 桐 栄佳先生

○中村 忍先生